

令和5年度に国民健康保険税率を改正します

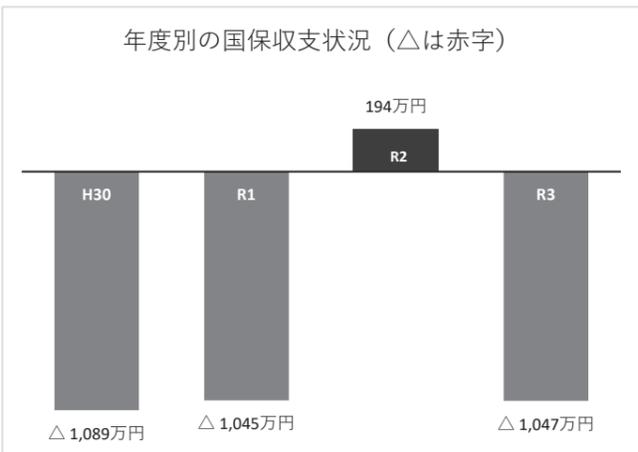
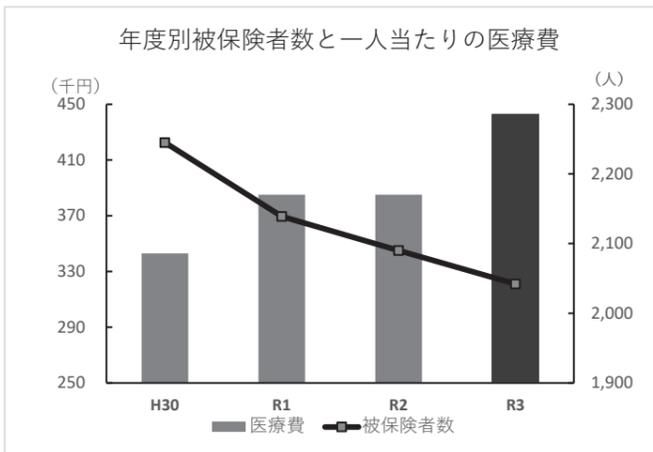
国民健康保険は、皆さんの健康と暮らしを守るための制度です。病気やケガをしたときに安心して医療が受けられるように、加入している人（被保険者）が負担する保険税と国などからの補助金を主な財源に、山形県が財政運営の責任主体となりながら町が運営しています。

令和5年3月末時点で1901人、町の総人口の25%の人が国民健康保険に加入しています。しかし、ここ数年は、加入者数の減少に加え、急速な高齢化や医療技術の高度化等により、一人当たりの医療費が年々増加しています。保険税収入については、収納率が高い割合を維持しながらも、景気低迷の影響等により保険税自体が減額となっているため、収入が減少してきています。

これまで、出来る限り被保険者の負担を抑えるため、税率を変えずに、不足分はこれまで蓄えた基金を使いながら運営を維持してきました。しかし、近年は赤字の年が多いのが現状です。

このような国保財政の不安定な状況を踏まえて、将来の健全な財政運営のため、令和5年度からの税率を改正することになりました。また、今年度の税率改正に合わせて、国・県の方針に従い国保税の算定方式について、資産割を廃止した3方式に変更します。加入者の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、今後も総合的な健康づくり事業などをおこなって医療費の縮減に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

国民健康保険税については、今月末の「国保だより」（全戸配布）でも詳しくお知らせいたしますので、是非合わせてご覧ください。



改正後の税率について

	算出方法	医療分	後期高齢者支援金等分	介護納付金分
所得割	前年の所得から基礎控除(43万円)を差し引いた額×税率	8.4% (+1.8%)	2.9% (+0.3%)	2.2% (+0.3%)
資産割	土地・建物にかかる固定資産税×税率	-% (-20.0%)	-% (-8.2%)	-% (-6.6%)
均等割	加入者数×税率	22,100円 (+500円)	9,300円 (+300円)	9,800円 (+200円)
平等割	1世帯当たりの税額	22,800円 (+3,000円)	9,400円 (+1,000円)	7,000円 (+1,000円)
賦課限度額	保険税の上限額	65万円	22万円	17万円

※医療分：医療費の支払いに使われる財源（対象：加入者全員） / 後期高齢者支援金等分：後期高齢医療制度を支える財源（対象：加入者全員） / 介護納付金分：介護保険制度を支える財源（対象：40～64歳の方）

国保税に関するお問い合わせは町民税務課賦課納税室 ☎43-2014
 その他国保事業全般に関するお問い合わせは健康福祉課医療介護保険室 ☎43-3117

「もっと元気になる講座」 山大医学部附属病院 研修医 戸屋 颯太

突然の腹痛 ～救急外来受診の判断～

※令和5年4月25日（火）に行なわれた内容です

み

み なたさんは突然腹痛が起きましたか。安静にして様子を見るか、急いで病院に行くべきか迷う方もいるのではないのでしょうか。今回は突然の腹痛に関する受診の判断について詳しく教えていただきますので一部を紹介いたします。

感染性腸炎

感染性腸炎とは、急な下痢、全体的な腹痛、微熱です。生肉や牡蠣を食べた後に多く、水分をとって安静にしていれば治ることが多いですが、持続する症状がある場合は受診しましょう。

急性胆嚢炎、急性胆管炎

急性胆嚢炎とは、胆嚢と呼ばれる肝臓の下にある袋状の臓器に炎症が生じた状態です。急性胆管炎とは、胆管と呼ばれる肝臓から十二指腸をつないでいる管に炎症が生じた状態です。原因はコレステロールで胆石ができやすくなり、胆嚢や胆管に影響しているからです。症状は、どちらか肋骨下の右腹部にきりきりする痛みがあります。また、急な38℃以上の高熱や目の白い部分が黄色っぽくなる黄疸という症状が現れた時は、すぐに受診をしましょう。肥満

体型の方など揚げ物を多く食べる方は注意が必要です。

胃潰瘍、十二指腸潰瘍

胃潰瘍とは胃の壁に傷がついた後、胃酸の攻撃により穴が開く状態であり、十二指腸潰瘍とは、胃と小腸の間にある十二指腸の壁に穴が開く状態です。原因は、ピロリ菌による影響や、ロキソニン・バファリンなどの鎮痛薬の服用があります。症状は、胸やけやみぞおちの痛みがあります。胃潰瘍は食後に痛みが強くなり、十二指腸潰瘍は空腹時に痛みが強くなります。対応として、基本的に市販の胃薬を使用し様子を見て大丈夫ですが、症状が続く場合は医療機関を受診して下さい。また、黒い便が出た場合はすぐに受診をしましょう。

虫垂炎

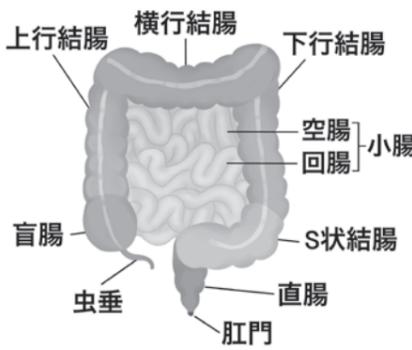
虫垂炎とは虫垂という部位に炎症が起き、原因は特になく、若年でも発症し、誰にでも起こりうる病気です。症状として、みぞおちから右下腹部に移動する痛みや発熱、食欲は低下し排便は止まることが多いため、早めに受診し、抗生剤や絶食、点滴を行う必要があります。重症の場合は手術をすることが多いです。

過敏性腸症候群

過敏性腸症候群とは、症状は下痢や便秘、腹痛があり、若い人に多いですが、原因はストレスであると考えられており、対応として、市販の整腸剤や下剤の服用、生活習慣の改善が重要になります。

最後に

急な下痢や便秘の場合、ひとまず様子を見て大丈夫ですが、激痛の場合や吐き気、高熱が伴う場合はすぐに受診をしてください。ただし、救急外来を受診する場合は事前に医療機関に電話にてご相談ください。症状が激しい場合には迷わず救急車を呼ぶことも重要になります。



○お問い合わせ 健康づくり推進室（内線608）

ウェルネス豆知識 微生物とは？

微生物とは、『ウイルス』や『細菌』、『真菌』などのことです。これからそれぞれの特徴を紹介いたします。

『真菌』とは聞き慣れないかもしれませんが、『カビ』、『酵母』、『きのこ』などの総称です。『カビ』には水虫やアオカビなどがあり、『酵母』にはイースト菌やビール酵母、『きのこ』には皆さんご存知の通りシメジやエノキなどがあります。『真菌』は周囲の水や栄養分を取り込んで増殖します。人体に増殖する水虫などには、抗生物質は効かず、抗真菌薬を使います。

『細菌』は『真菌』と同様、水や栄養分を取り込み増殖します。肺炎や食中毒などを起こす病原菌もあれば、乳酸菌や納豆菌などの有用な菌もあります。病原菌には抗生物質が有効です。

『ウイルス』は人や動植物に寄生して増殖します。しかし、熱などに弱く、人体などに入ると発熱、鼻水、くしゃみが出るのは、ウイルスを撃退するための身体の仕組みになります。薬でウイルスを撃退するには、抗ウイルス薬が効果的で、免疫獲得の手助けをしてくれます。